

## 公益財団法人中董奨学会について

### 【設立目的】

当会は 創立者中島董一郎の「今日迄絶大な御愛顧を賜った消費者各位の御厚情に聊かながらお報いすると同時に幾分なりとも社会の進展に貢献し、国運の興隆に寄与致したい」との願いにより、1967年5月に設立されました。

これを踏まえ 創意工夫、勤勉努力、誠実を旨とする社会有用の人材を育成し、産業の興隆に寄与するため、優秀な学徒にして、経済的事由により困難に当面する者に対し、奨学金を支給し、その他育英上必要な業務を行うことを目的としております。

### 【対象となる学生】

経済的に学資の援助を必要とし心身健全・成績優秀な大学学部3年生または大学院1年生（年齢30歳未満の方）を対象としています。採用はおひとり一回限りです。

### 【給付型奨学金】

月額 40,000 円 奨学金の返済は不要です。

### 【給付期間】

2年間、もしくは正規課程の標準修業年限までの短い方  
学部→大学院、修士→博士の進学時は継続給付不可です。

### 【奨学生の義務】

毎月、事務局と Web（中董奨学会 SNS）で近況報告等のメッセージ交換を行っていただきます。また毎学年度末に学業成績証明書・生活環境報告書（学校を卒業される方は卒業証明書、OB・OGからのメッセージ等）の提出をお願いしております。

### 【その他】

- ・ 他の給与奨学金と重複しないことが望ましいですが、事情によってはこの限りではありません。
- ・ 奨学生は卒業後、進路など当会に対し何ら義務の負担はありません。
- ・ 当会の規定に照らし合わせて、奨学生として相応しくないと判断された場合には、奨学金の返還等を求めることがあります。
- ・ 当会は一部指定校制を導入しています。

※本件に関するお問合せは 事務局宛にお願いします。

公益財団法人中董奨学会 事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-4-13

TEL 03(3407)7113

e-mail : shogakukai@nakashima-foundation.org

HP : <https://www.nakashima-foundation.org/scholarship/>

# 公益財団法人中董奨学会 指定校奨学生募集要項

## 1. 応募資格

- ① 応募年度4月1日現在 年齢が30歳未満の方
- ② 応募年度4月1日現在 大学学部3年生、大学院1年生(修士、博士課程問いません)
- ③ 日本国籍を有し、日本の大学に在学中の方
- ④ 学業優秀、品行方正、心身ともに健康で、経済的な理由により学資の支弁に困難している方
- ⑤ 就学及び生活状況を当会 SNS で毎月報告、年度末に当会指定の書類提出ができること
- ⑥ 他機関の奨学金受給中、または申請予定でも応募できますが、併用不可の奨学金を受給中または申請予定の方は、当会に応募できません
- ⑦ 留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではない為)
- ⑧ 奨学金は最長2年間支給、お一人1回限り、学部→大学院、修士→博士の進学は対象外となります

## 2. 募集期間

3月上旬 ～ 指定校学内締切日

## 3. 給付奨学金

月額：40,000円 最長2年間 (返済の義務はありません)

## 4. 応募書類 (中董奨学会ホームページ参照 <https://www.nakashima-foundation.org/scholarship>)

- ① 中董奨学会願書(指定校学生課よりお受け取りください)
- ② 小論文・ご自身について(HP「応募方法」の頁よりダウンロード → word入力・印刷)
- ③ 指導教官推薦書  
(HP「応募方法」の頁よりダウンロード → 本文 word入力・印刷、指導教官の署名押印が必要)
- ④ 在学証明書(学校書式・原本)※
- ⑤ 学業成績証明書(学校書式・原本)※

※4月より編入学の方は、編入する大学の在学証明書と前校の成績証明書を提出

## 5. 奨学生の義務

中董奨学会SNSにて毎月 生活・就学の報告等メッセージ交換、年度末書類提出(期日あり)、住所・メールアドレス・電話番号・奨学金振込口座の変更や休学・留学・転学・退学の場合 届出提出

## 6. 奨学生の資格喪失等注意事項

当会が適当でないと判断した場合は、奨学金支給停止、状況によっては返還を求めることがあります

- ① 提出書類に虚偽があった場合
- ② 休学・転学・留学・留年・退学・停学処分等 学籍の異動
- ③ 学業成績または操行不良となったとき
- ④ 奨学生の義務である毎月の報告や書類提出の遅延、または報告・提出を行わないとき

## 7. 応募・結果通知

- \* 応募書類は指定校学生課に提出して下さい
- \* 採否等は6月中旬、当会より指定校学生課にご連絡いたします

## ----- 指定校(指定学部)一覧 -----

北海道大学(農学部)、東北大学(農学部)、山形大学(農学部)、茨城大学(農学部)、筑波大学(生命環境学群)、宇都宮大学(農学部)、千葉大学(園芸学部)、東京農工大学(農学部)、東京農業大学(農学部)、東京海洋大学、明治大学(農学部)、日本大学(生物資源科学部)、新潟大学(農学部)、信州大学(繊維学部)、岐阜大学(応用生物科学部)、静岡大学(農学部)、名古屋大学(農学部)、三重大学(生物資源学部)、神戸大学(農学部)、鳥取大学(農学部)、広島大学(生物生産学部)、水産大学校、山口大学(農学部)、香川大学(農学部)、高知大学(農林海洋科学部)、九州大学(農学部)、長崎大学(水産学部)、宮崎大学(農学部)、鹿児島大学(水産学部)

※大学院は(指定学部)に準ずる

## 8. 個人情報の取扱いについて

ご送付いただいた願書・応募書類等の個人情報は、奨学生採用時の資料、奨学金給付およびそれに関する業務の目的以外では使用いたしません

ご記入いただいた個人情報に関するお問い合わせは中董奨学会事務局までお願いいたします

## 9. 応募書類等記入の注意事項

### ----- 願書記入の注意事項 -----

・願書は全項目記入(必須)

・「他の奨学金」「1カ月平均の収支」の項目以外は、募集年度4月1日時点での情報を記入

・「他の奨学金」について、本年3月現在で受給中のもの・申請予定のものをモレなく記入する欄が足りない場合は受給中のものを優先して記入し、記入しきれなかったものはメモで添付する

・「家族全員(本人除く)」について、

親は実家住まいで申請者本人が大学の寮に入居や一人暮らしの場合は「別居」

親が単身赴任の場合は「職業・勤務先名称の後に(単身赴任)」と記入し「別居」

親の職業、勤務先、年収は前年(1~12月)実績を記入する(年収=税込収入)

1人2種類以上(給与収入、事業収入等)の収入がある場合は「職業・勤務先」に内容を、前年収入年額欄には 合計金額(税込)を記入する

兄弟姉妹が独立し別居の場合は、前年収入年額欄には「別生計」と記入する

・「1カ月平均の収支(前年実績)」について、実家から通学の方は支出欄の住居費・水道光熱費・食費は0円と記入する。もし申請者本人のアルバイト収入や奨学金から一部を拠出している場合は、該当する箇所に記入する

同様に申請者本人のアルバイト収入で通学交通費・年間授業料・その他の全部または一部を賄っている場合は、該当箇所に記入する

支出欄の「年間授業料の補てん・学用品」には 「(前年年間授業料-前年授業料免除額)÷12」+「1カ月あたりの学用品」の金額を入力、前年度に入学金支出があった場合は授業料に加算する

・「前年年間授業料」には、大学で定められている授業料(免除を受けている場合は免除適用前の授業料)を記入する

### ----- ご自身について・指導教官推薦書の注意事項 -----

・当会 HP「応募方法」より、小論文「ご自身について」をダウンロード、テーマごとに word 入力・A4印刷する  
同様に「指導教官推薦書」は指導教官が word 入力・A4印刷する(※指導教官の署名押印が必要)

※4月から編入学される方の指導教官・・・3月まで在籍の前校で、応募者ご自身をよく知る指導教官に作成をお願いしてください。

本資料1頁記載 4. 応募書類の ①~⑤ を全てそろえ、指定校締切日までに学生課に提出してください

## 年度 公益財団法人中董奨学会 願書

本人	フリガナ						写真貼付  縦 4 cm 横 3 cm	
	氏名							
	学校名		(国立・公立・私立)		(大学・大学院)			
	学部/科/専攻 研究室等							
	学年		卒業見込		西暦		年 月	
	生年月日		西暦 年 月 日 ( 才)		性別		男・女	
	現住所		〒 -					
	Tel・携帯				e-mail 携帯不可			
住家族の	現住所		〒 -				Tel 携帯	
他の奨学金(申請予定を含む全てを記入)	名称		月額(円)	種別	期間		受給中/申請予定	
				貸与/給付	年 月～ 年 月		受給中/申請予定	
				貸与/給付	年 月～ 年 月		受給中/申請予定	
				貸与/給付	年 月～ 年 月		受給中/申請予定	
				貸与/給付	年 月～ 年 月		受給中/申請予定	
				貸与/給付	年 月～ 年 月		受給中/申請予定	
家族全員(本人を除く)  就学者を除く家族  就学者・乳幼児	氏名		続柄	年齢	職業・勤務先(前年度実績)		同居/別居	前年收入年額/税込
				才			同居/別居	万円
				才			同居/別居	万円
				才			同居/別居	万円
				才			同居/別居	万円
				才			同居/別居	万円
				才			同居/別居	万円
	氏名		続柄	年齢	学校種別		学年	通学
				才	国公立/私立 小・中・高・専修・大学・大学院		年	自宅/自宅外
				才	国公立/私立 小・中・高・専修・大学・大学院		年	自宅/自宅外
				才	国公立/私立 小・中・高・専修・大学・大学院		年	自宅/自宅外
				才	国公立/私立 小・中・高・専修・大学・大学院		年	自宅/自宅外

本人の経歴	経歴事項	経歴事項 (学歴・職歴)	
	年 月	高等学校卒業	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
その他特記事項 (特技・研究業績・表彰・受賞など)			
1 カ月平均の収支 (前年実績) 収支は一致			
支出欄「年間授業料の補てん・学用品」には「前年年間授業料-前年授業料免除額÷12」+「1か月あたりの学用品」の金額を記入			
収入		支出	
家庭から	円	住居費 (自宅・寮・賃貸) 該当に○印	円
アルバイト	円	電気・ガス・水道代	円
具体的に ( )		食費	円
貸与奨学金	円	通学交通費	円
給付奨学金	円	年間授業料の補てん・学用品	円
その他	円	その他	円
具体的に ( )		具体的に ( )	
収入合計	円	支出合計	円
当年の収支について、前年と異なり増減が見込まれる場合は収入・支出ごとに金額と変更になる理由を記入			
前年 年間授業料	円	前年 授業料免除額	円
当年 年間授業料	円	当年授業料免除申請について 該当するものに○印 (申請中・申請せず・制度なし)	

〇〇〇〇年度 公益財団法人中董奨学会 願書 記入例

本人	フリガナ	ダイガク ハジメ				写真貼付  縦 4 cm 横 3 cm	
	氏名	大学 一 					
	学校名	(国立・公立・ <u>私立</u> ) 中董奨学 (大学・大学院)					
	学部/科/専攻 研究室等	〇〇	部	〇〇	科 〇〇 専攻 〇〇 研究室		
	学年	3 年		卒業見込	西暦 ×××× 年 × 月		
	生年月日	西暦 ××××年 ××月××日 (××才)		性別	<u>男</u> ・女		
	現住所	〒×××× - ×××× 〇〇県〇〇市〇〇町×-××-××					
	Tel・携帯	××××-××-××××	e-mail 携帯不可	×××××@××××.××.××			
家族の住所	〒×××× - ×××× 〇〇県〇〇市〇〇町×-××-×× Tel ××××-××-×××× 携帯 ×××-××××-××××						
他の奨学金(申請予定を含む全てを記入)	名称	月額(円)	種別	期間	受給中/申請予定		
	日本学生支援機構	40,000 円	<u>貸身</u> /給付	××××年×月~××××年×月	<u>受給中</u> /申請予定		
	〇〇奨学財団	30,000 円	貸与/ <u>給付</u>	××××年×月~××××年×月	<u>受給中</u> /申請予定		
	□□県育英会	20,000 円	<u>貸身</u> /給付	××××年×月~××××年×月	<u>受給中</u> /申請予定		
	〇〇福祉財団	40,000 円	貸与/ <u>給付</u>	年 月~ 年 月	受給中/ <u>申請予定</u>		
	□□記念奨学財団	80,000 円	貸与/ <u>給付</u>	年 月~ 年 月	受給中/ <u>申請予定</u>		
家族全員(本人を除く)	就学者を除く家族	氏名	続柄	年齢	職業・勤務先(前年度実績)	同居/別居	前年収入年額/税込
		大学 太郎	父	54 才	株式会社〇〇製作所	同居	510 万円
		大学 花代	母	52 才	有限会社〇〇酒店	同居	89 万円
		奨学 一子	姉	30 才	〇〇中学校教諭	別居	別生計 万円
				才			万円
				才			万円
	就学者・乳幼児	氏名	続柄	年齢	学校種別	学年	通学
		大学 二三	妹	13 才	<u>国公立</u> /私立 小 <u>中</u> .高.専修.大学.大学院	2 年	<u>自宅</u> /自宅外
				才	国公立/私立 小.中.高.専修.大学.大学院	年	自宅/自宅外
				才	国公立/私立 小.中.高.専修.大学.大学院	年	自宅/自宅外
		才	国公立/私立 小.中.高.専修.大学.大学院	年	自宅/自宅外		

本人の経歴	経歴事項	経歴事項 (学歴・職歴)	
	××××年 ×月	〇〇県立〇〇〇	高等学校卒業
	××××年 ×月	〇〇大学 〇〇学部 入学	
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
その他特記事項 (特技・研究業績・表彰・受賞など) 〇〇〇・・・・			
1カ月平均の収支 (前年実績) 収支は一致			
奨学金収入等を年間授業料に充当している場合は12ヶ月で割った金額を支出のその他覧に記載する			
収入		支出	
家庭から	15,000 円	住居費 (自宅・寮・賃貸) 該当に〇印	0 円
アルバイト	20,000 円	電気・ガス・水道代	0 円
具体的に (家庭教師)		食費	0 円
貸与奨学金 (受給中の奨学金全て記入)	合計 60,000 円	通学交通費	35,350 円
給付奨学金 (受給中の奨学金全て記入)	合計 30,000 円	年間授業料の補てん・学用品	66,000 円
その他	0 円	その他	23,650 円
具体的に ( )		具体的に (携帯電話、医療費)	
収入合計	125,000 円	支出合計	125,000 円
※収入合計と支出合計が同金額になるようにしてください			
当年の収支について、前年と異なり増減が見込まれる場合は収入・支出ごとに金額と変更になる理由を記入 学業や研究が忙しくなり新学期より実家を出て、大学近くのアパートで一人暮らしをする予定である。またアルバイトをこのまま続けるのも困難であり、住居費や食費などの生活費が約〇〇〇〇〇円増加となる。その他、就職活動準備のスーツ購入や交通費など出費が増える。			
前年 年間授業料	1,200,000 円	前年 授業料免除額	600,000 円
当年 年間授業料	1,200,000 円	当年授業料免除申請について 該当するものに〇印 (申請中・申請せず・制度なし)	

# 家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	_____学群 _____学類 _____年次															
		_____課程					_____大学院					_____研究群 _____年次					
	学籍番号							性別	男・女		現住所	〒 _____ TEL ( _____ )					
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )						
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称				給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額					
		父				年					万円	万円					
		母					年					万円	万円				
		父または母 死亡・離別の場合 時期( 年 月) 理由( )															
		主たる家計支持者無職等の場合 時期( 年 月) 理由( )															
						年					万円	万円					
						年					万円	万円					
						年					万円	万円					
						年					万円	万円					
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別		通学別	控除額						
本人					筑波大学	国立			※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)		※自宅 自宅外	万円							
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無														
	障害者がある世帯		※有・無		続柄( ) 氏名( ) 手帳番号( )												
	その他																
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額( 千円)				認 定										
	アルバイト		月額( 千円) 内容( )				総収入金額		① 万円								
	奨学金	受給中	月額( 千円) 団体名( )				必要経費		② 万円								
		申請中	月額( 千円) 団体名( )				特別控除額		③ 万円								
	その他の収入		月額( 千円) 内容( )				総所得金額		④=①-②-③ 万円								
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人						
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円						
	修得単位数または科目数								家計充足率		⑥=④÷⑤×100						

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。  
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。  
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)  
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。  
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。